

貴重なご意見
ありがとうございました(^^)

事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|-----------------|----|---|-----|---------------|-----|---|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 83% | 8% | 0% | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 92% | 0% | 0% | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 75% | 17% | 0% | |
| 業務 改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 58% | 33% | 0% | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 67% | 17% | 0% | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 58% | 8% | 8% | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 33% | 8% | 8% | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 92% | 8% | 0% | |
| 適切 な | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 75% | 17% | 0% | ・アセスメントはもう少しツール化して全体像が見えるとよいのかもと思います。保護者のニーズも年々変わると思うのでときどき確認したいです。 →スパーク以外の情報収集が課題と考えています。アセスメント・モニタリング時のツールを見直ししていきます。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 50% | 17% | 8% | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 75% | 8% | 0% | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 83% | 0% | 0% | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 67% | 17% | 8% | |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|-----|-----|-----|---|
| 支援の提供 | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 83% | 0% | 0% | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 92% | 0% | 0% | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 83% | 8% | 0% | ・振り返りや検討するように個人的には努めているが、定期的に話し合う場があるといいと思います。 →毎週事例検討会議が出来るように毎週スケジュールに入れていきます。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 83% | 8% | 0% | |
| | 18 | 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 75% | 17% | 0% | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか | 58% | 25% | 0% | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 75% | 0% | 0% | |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 83% | 0% | 0% | |
| | 22 | （医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合）子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | | | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 33% | 25% | 0% | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 42% | 17% | 0% | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 42% | 17% | 0% | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 17% | 17% | 42% | |
| | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | 33% | 8% | 17% | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 83% | 0% | 0% | |
| 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 25% | 25% | 17% | | |

| | | | | | | |
|------------|----|---|-----|-----|-----|----------------------------|
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 83% | 0% | 0% | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 92% | 0% | 0% | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 8% | 8% | 58% | |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 75% | 0% | 0% | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 50% | 8% | 17% | |
| | 35 | 個人情報の取り扱いに十分注意しているか | 92% | 0% | 0% | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 83% | 0% | 0% | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 8% | 25% | 33% | |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか | 33% | 33% | 17% | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 17% | 0% | 67% | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 67% | 17% | 0% | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 50% | 8% | 17% | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 33% | 8% | 33% | ・対象児がない。 ・食事の提供を行っていない。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 75% | 0% | 0% | |

貴重なご意見
ありがとうございました(^^)

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|-----------------|----|---|------|-----|--|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 100% | 0% | ・設置基準上はクリアしている。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 92% | 0% | ・配置基準上はクリアしている。 |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 92% | 8% | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 100% | 0% | |
| 業務 改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 67% | 17% | |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 75% | 8% | ・年に一度の利用者アンケートを実施している。 |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 75% | 8% | ・利用者アンケートとともに、施設内掲示およびHPへ掲載している。 |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 25% | 58% | ・第三者評価は実施に至っていない。 |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 92% | 8% | ・あらためて研修というより、日常の支援を検討する機会が定期的にあるとスキルアップにつながると思います。 →毎週事例検討会議が出来るように毎週スケジュールに入れていきます。 |
| 適切 な | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか | 75% | 8% | ・アセスメントはもう少しツール化してもよいかもしいない。 →スパーク以外の情報収集が課題と考えています。アセスメント・モニタリング時のツールを見直ししていきます。 |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 58% | 25% | |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 75% | 8% | |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 92% | 0% | |

| | | | | | |
|--|----|---|------|-----|--|
| 支 援 の 提 供 | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 92% | 0% | |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 92% | 0% | |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか | 100% | 0% | |
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 92% | 8% | |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 83% | 17% | ・振り返りや打ち合わせをする場をあらかじめ設定はしていないが、支援に入る職員とは共有するよう努めている。 |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 100% | 0% | ・職員間で検証・改善を話す場はなかなか確保しづらいが個人的には努めている。 |
| | 20 | 定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | 92% | 8% | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 83% | 0% | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | 33% | 42% | |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | | | |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | | | |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 83% | 8% | ・ケースによってはある。送迎時に情報交換、相互理解に努めている。 |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 92% | 0% | ・ケースによってはある。 |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 42% | 42% | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 25% | 58% | |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | 25% | 42% | |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 92% | 0% | |

| | | | | | |
|------------|----|---|------|-----|---|
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか | 50% | 33% | |
| 保護者への説明責任等 | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 83% | 0% | |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 83% | 0% | |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 92% | 0% | |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 17% | 67% | |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 92% | 0% | |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 58% | 33% | |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか | 100% | 0% | |
| | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 83% | 0% | ・送迎時のやり取り、電話、LINEなど複数の方法でしている。子どもには実態に合う伝え方を工夫している。 |
| 非常時等の対応 | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関われた事業運営を図っているか | 8% | 67% | |
| | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | 25% | 58% | ・緊急時の対応について、周知があるとよいと思う。 →定期的に確認する機会を設けていきます。 |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 17% | 75% | ・緊急時の対応について、周知があるとよいと思う。 →定期的に確認する機会を設けていきます。 |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか | 75% | 0% | |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 33% | 42% | ・食事の提供をしていない。 ・食事の場がないので。 |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 75% | 0% | |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 83% | 8% | |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | 58% | 17% | |